【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公表番号】特表2018-516158(P2018-516158A)
【公表日】平成30年6月21日(2018.6.21)
【年通号数】公開・登録公報2018-023
【出願番号】特願2017-549205(P2017-549205)
【国際特許分類】
Ｃ０２Ｆ　1/42　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　17/00　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　1/24　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　41/05　(2017.01)
Ｂ０１Ｊ　41/14　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　1/28　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　17/05　(2006.01)
Ｆ２３Ｋ　5/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０２Ｆ　1/42　Ｄ
Ｂ０１Ｄ　17/00　５０３Ｂ
Ｃ０２Ｆ　1/24　Ｂ
Ｂ０１Ｊ　41/04　１１０
Ｂ０１Ｊ　41/14
Ｃ０２Ｆ　1/28　Ｈ
Ｂ０１Ｄ　17/05　５０１Ｋ
Ｃ０２Ｆ　1/28　Ｄ
Ｆ２３Ｋ　5/12

【手続補正書】
【提出日】平成31年3月11日(2019.3.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アニオン交換樹脂と、水中炭化水素乳濁液供給源と流体連通する注入口と、水透過水排出口と、炭化水素排出口とを含んでなるアニオン交換段階を含んでなる、水中炭化水素精製システム。
【請求項２】
前記水透過水排出口と液体連通しかつ前記アニオン交換段階の下流にある、活性炭を含んでなる炭化水素吸収剤段階をさらに含んでなる、請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
エンジン燃料ラインに流体接続されかつ水排出口を有する燃料および水分離器システムと、
前記水排出口と流体連通する、請求項１および２のいずれか一項に記載の水中炭化水素精製システムの前記注入口と
を含んでなる、エンジン燃料および水分離システム。
【請求項４】

油／水リザーバ容器と、
前記油／水リザーバ容器に流体接続にされる、請求項１に記載の水中炭化水素精製システムの前記注入口と
を含んでなる、油／水分離器システム。
【請求項５】
アニオン交換樹脂を含んでなるアニオン交換要素に水中炭化水素乳濁液を通過させて、前記乳濁液を分解し、かつ実質的に水である透過水から炭化水素相を分離させるステップと、
前記透過水を前記アニオン交換要素から除去するステップと
を含んでなる、方法。